



KMU 金沢医科大学氷見市民病院

| 広 | 報 | 誌 |

# かけはし

氷見

KAKEHASHI



患者さんと病院と  
地域をつなぐ広報誌

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY  
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL



TOPICS ●トピックス

## 新年のご挨拶

雨晴海岸と立山連峰

CONTENTS ●もくじ

TOPICS 新年のご挨拶	P.01
特集 第13回 地域医療懇談会	P.02
井口先生の診察室から	P.03
診療コラム	P.04
病院★ニュース	P.05
病院からのお知らせ掲示板	P.06
まちかど情報	P.07

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として次のような病院を目指します。

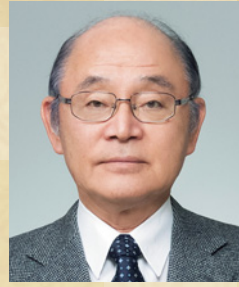
- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。







# 新年のご挨拶



最高経営責任者 (CEO)

## 松本 忠美

**明** けましておめでとうござい  
ます。

昨年の暮れは日本中に寒波が到来し、北陸地方においては雪景色の美しい正月を迎えました。

昨年は、世界中にコロナの感染が拡がり、日本においても何度かの流行に見舞われ、コロナに始まりコロナで終わるといふ、忙しい一年を過ぎました。

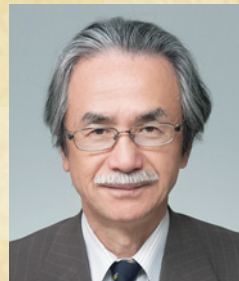
北陸地方においては、5回の新型コロナウイルス感染症の流行の波に見舞われました。特に7月から9月にかけて起こった「第5波」では、一日の新規感染者数が富山県内で150名を越え、当院においても、ピーク時には新型コロナウイルス感染者数が12名まで増加しました。この時には、当院の発熱外来においても、たびたび陽性者を認めました。

が、10月になってからコロナ患者は発生しておらず、コロナ感染症の入院患者0名の状態が12月末まで続きました。これも氷見市医師会の先生方と協力して行った新型コロナウイルスワクチンの接種率が氷見市民の70%を越えたことが感染者の減少に大きく影響したものと思われま

す。

新型コロナウイルス感染症の流行ピーク時には、病院全体、特にコロナ患者の診療に従事する病棟や職員は感染の危険にある中で、かなりのストレスがかかりました。特に精神的なストレスにおいては、目に見えないものですが、全ての職員が影響を受けたことと思います。しかし、職員皆が力を合わせ何とか乗り越えることが出来ました。

今後、南アフリカで発生しましたオミクロン変異株による第6波のコロナ感染の予測は大変難しいですが、氷見市医師会の先生方と協力して、3回目のワクチン接種を行い、氷見市民の命と健康を守ってきたいと考えております。



病院長

## 榎 博久

**明** けましておめでとうござい  
ます。新型コロナウイルスに何とか対応  
できた令和3年が終わり令和  
4年を迎えることができました。

当院では、年初から引続き新型コロナウイルス感染症対策に力を注ぎましたが、7月からは第5波を受けてPCR検査の陽性者が急速に増加しました。それに伴い、新型コロナウイルス患者の入院は増加し、ピーク時にはコロナ病床がほぼ満床の12名、全部で40数名の患者が入院しました。幸い、中等症までの患者さんで重症化した例はなく、早期の抗ウイルス薬や抗体カクテル療法で皆様改善し退院されました。コロナの第5波は全国的にも収束しましたが、すでに第6波が来ており今後も気を緩めることなく市民と職員を守るために万全の対応を続けたいと思っております。

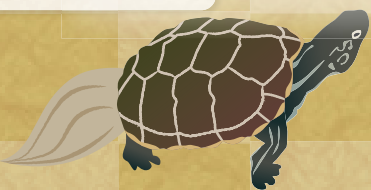
令和3年は、新型コロナウイルスの影響を受けていた外来患者数は回復し、内科系や耳鼻いんこう科、小児科などの診療は例年並みに増加、回復しました。一方、外科系は入院、手術数とも伸び悩み、10月からは昨年を下回

る成績となっております。原因については検討中ですが、おそらくその一つはコロナによる緊急事態宣言で外出活動が減少して通常の外傷が少なくなっているためと思われるかもしれませんが、その原因ははつきりせず引き続き検討しております。氷見市の人口減少は続いており、県内では朝日町に続く減少となっております。地方公的病院は医療ニーズの変化と通常の急性疾患の減少への対応に追われています。ベッド数が300床位までの中小病院は現在の人事などの病院のシステムが実情に合わなくなっているのではないのでしょうか。県内のこのような病院では色々な試みで対応しようとしていますが、必ずしも努力が実を結んではいけないようです。氷見市民病院では内科系の入院適応基準を見直し、疾患の治療だけでなく予防やリスクのある患者の嚴重な経過観察にまで適応を広げようとしております。また、外科系の手術についてはより一層侵襲の少ない手技を導入して適応患者さんの選択の幅を広げようとしております。

今年も市民の皆様々に「近隣の大病院へ行く前に、まず氷見市民病院に行ってみよう」と思っていただけだか

病院になるよう、努力を続けたいと思っております。

皆様のご多幸を祈念しております。





第13回

金沢医科大学氷見市民病院  
地域医療懇談会

令和3年11月27日(土)17時から、当院6階多目的ホールにて第13回金沢医科大学氷見市民病院地域医療懇談会を開催しました。本会は、関係医療機関の先生方や介護福祉施設との連携や親睦を深めることを目的に毎年開催しておりますが、昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、2年ぶりの開催となりました。今回は、当院職員および地域の医療機関の先生方54名が参加のもと行われました。



はじめに、松本忠美最高経営責任者の開会挨拶があり、続いて梅博久病院長から当院の近年の動向と、発熱外来や新型コロナウイルス感染症の入院患者の動向について報告されました。その後、当院の役職者の紹介、昨年と今年度に着任した医師の紹介と挨拶があり、新任医師からは各自の専門分野などについて紹介がありました。また、特別講演では、「新型コロナウイルスの最新情報と展望」と題して、金沢医科大学臨床感染症学の飯沼由嗣教授にご講演いただき、これまでの全国および石川県・富山県の感染状況、インフルエンザ感染症との違い、新型コロナウイルス感染症の特徴や治療の実際、今後予定されている3回目ワクチンの必要性などについて大変わかりやすくお話ししていただきました。

今回は感染拡大防止の観点から、懇親会を行わず講演会のみ形式で開催し、やや寂しい面はあったものの、久しぶりに地域の先生方と直接お会いし、

充実した時間を過ごすことができました。次回以降は懇親会が開催できるよう感染が収束に向かうことを祈りつつ、この日を機会に病診連携を更に深め、氷見市民の皆様の健康維持に役立たなければならぬと感じた会でした。

(耳鼻いんこう科 坪田雅仁 記)



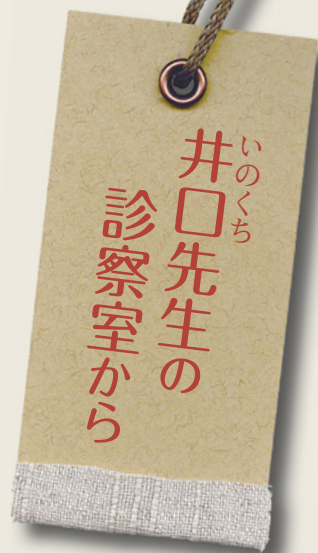
特別講演  
(飯沼教授)



開会挨拶  
(松本 CEO)



新任医師紹介



一般・消化器外科  
乳腺・内分泌外科専門外来

井口 雅史  
INOKUCHI MASAFUMI

## 2

018年から当院の一般・消化器  
外科外来において、「乳腺・内分

泌外科専門外来」を毎週水曜日に開設  
しております。これまで氷見市は、富  
山県内でも乳腺専門医が不在の市であ  
りましたが、専門外来の開設により、  
石川県の乳がん診療拠点病院である金  
沢医科大学から出向する乳腺専門医が  
乳がん検診や治療にも関わることにな  
り、乳腺診療レベルが格段に向上しま



した。氷見市内における乳がん検診に  
よる乳がん発見率も向上しております。

当院は、氷見市内で唯一、乳がんの  
診断に必要なマンモグラフィ、超音波  
検査、乳房MRI検査装置、針生検の  
機器がすべて揃っており、最新機器に  
よる診断を行うことが可能です。乳が  
んの治療に関しては手術や薬物療法な  
どのすべてを当院で行うことはできま  
せんが、必要に応じて金沢医科大学病  
院に紹介することで、ハイレベルな乳  
がん医療を提供することも可能です。

最近の乳がん診療は、新しい診断・治  
療機器や薬剤に加えて、がんの種類や  
遺伝子検査などの結果に基づいた治療  
の個別化が進んでいます。がん治療を  
行う医療機関には、がん治療医だけ  
はなく、他診療科の医師、看護師、薬  
剤師、放射線技師、検査技師、理学療  
法士、ソーシアルワーカー、医療事務  
職など多職種によるがん患者さんへの  
総合的なサポートが求められる時代に

なってきました。当院にも、本院の  
金沢医科大学病院から各分野のエキス  
パートが多く出向しており、皆さんが  
がんに罹っても、安心して医療を受け  
られるサポート体制を整えております。  
我々も週に1日ではありますが、当  
院で氷見市の皆様に最先端の乳がん診  
療を提供したいと思っておりますので、安心  
してお越しく下さい。

### 乳腺・内分泌外科専門外来のご案内

診療日 毎週水曜日 午前診療

担当医 第2・4週 :井口 雅史 医師  
第1・3・5週:野口 美樹 医師

時間 受付 8:00~11:00

診療 9:00~12:00

問合せ 一般・消化器外科外来受付

☎ 0766-74-1900 (内線 1100)

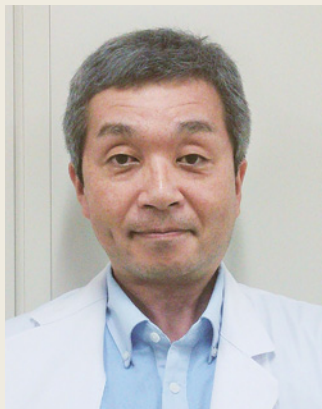
### 井口 雅史 ★ 略歴

#### 【学歴・職歴】

- ◎1995年 金沢大学医学部卒業、金沢大学 外科学第2入局
- ◎2007年 金沢大学がん局所制御学 助教
- ◎2009年 金沢大学附属病院 乳腺科 臨床准教授
- ◎2014年 金沢大学附属病院 乳腺科 診療科長
- ◎2018年 金沢医科大学病院 乳腺・内分泌外科 准教授
- ◎2021年 金沢医科大学病院 乳腺・内分泌外科 診療科長、乳腺センター長

#### 【資格】

- ◎日本乳癌学会 乳腺専門医・指導医、評議員
- ◎日本外科学会 専門医・指導医
- ◎日本がん治療認定医
- ◎マンモグラフィ読影認定医(A判定)
- ◎北陸乳癌懇話会代表世話人
- ◎石川県生活習慣病検診等管理指導協議会乳がん部会委員
- ◎石川県乳・甲状腺がん検診専門委員会委員
- ◎金沢市医師会乳がん検診精度管理委員会委員





# 診療コラム

## 医療安全対策部

医療安全対策部は「安心・安全で質の高い医療の提供」のため、組織横断的な活動を担う部署で、「医療安全管理室」と「感染対策室」の2組織で構成されています。

### 医療安全管理室

院内の医療安全の確保のための活動を行い、組織横断的に医療安全対策を推進することを目的として設置されています。メンバーは、副院長相当職の医師が室長を務め、専従医療安全管理者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者および事務員で構成されています。

主な業務は、各部署・部門における医療安全確保のための業務改善の推進と実施・状況の評価、医療安全対策の体制確保のための連携、医療安全関連委員会との連携、院内研修企画・実施、患者や家族

の相談対応、医療安全の取り組みの評価のためのカンファレンスの企画・運営などです。

これからも、患者さん中心の安全で質の高い医療提供のために、医療全体の質の向上を図りながら安全管理に関する体制推進に日々努めていきます。



私立医科大学協会相互ラウンドの様子

### 感染対策室

感染発生の早期察知・感染拡大防止の対策及び推進のため、多職種で構成したICT(感染対策チーム)とAST(抗菌薬適正使用支援チーム)で活動しています。

主な業務として、ICTは感染対策マニュアルの整備、医療感染サーベイランス、環境ラウンド、感染対策教育(各種講習会の立案・運営)など、ASTは耐性菌発生抑制、標準的感染症治療のため抗菌薬投与状況を把握し、適切な抗菌薬治療の提案などを行っています。

昨年度からはCOVID-19の流行に伴い、ウイルスを院内に持ち込まないために、発熱者の抽出や職員の健康管理の体制作り、発熱外来での検査や陽性者の入院対応などに追われていました。感染対策のため、これまではイ

ンフルエンザ等の飛沫感染時のみ装着していたマスクも「ユニバーサルマスクング」という言葉が使われるようになり、院内では常時サージカルマスクを着用するようになりました。今後、COVID-19感染を拡げないために自己の体調管理を行い、出入時の手指衛生の実施にご協力をお願いいたします。



ICT (感染対策チーム)メンバー



## 職員の新型コロナウイルス3回目接種

12月から医療従事者の新型コロナウイルスの3回目接種が開始されました。

当院では、12月13日(月)から12月22日(水)にかけて、職員を対象とした3回目接種を実施しました。対象者は、2回目接種完了から8カ月が経過した職員で、約500名が3回目の接種を受けました。

前回の職員接種では、初めてのことであり手探りで進めていたところがありました。今回については、これまでの経験からスムーズに接種を実施することができました。前回同様に、問診を医師、接種・経過観察を看護師、受付や予診票の回収、会場整理等をコメディカルと事務員が担当するなど、全ての職種が一丸となって接種業務にあたりました。

その甲斐あって、特に大きなトラブルもなく接種は順調に進み、予定通り3回目の接種を無事に終えることができました。

今後、市内の医療従事者、一般市民への3回目接種が始まりますが、この経験を活かし、職員一丸となって、引き続き安全第一で臨みたいと思います。



## 私立医科大学協会 医療安全・感染対策部門の相互ラウンド

日程：令和3年11月17日(水) 13時30分から

右記日程において、当院6階多目的ホールにて2021年度私立医科大学協会医療安全・感染対策部門の相互ラウンドが行われました。この相互ラウンドは私立医科大学附属病院間のコミュニケーションと情報共有を目的としており、今年度は聖マリアンナ医科大学が指定管理者として運営している川崎市立多摩病院と実施され、病院長をはじめ医療安全・感染対策担当スタッフ総勢11名の訪問がありました。

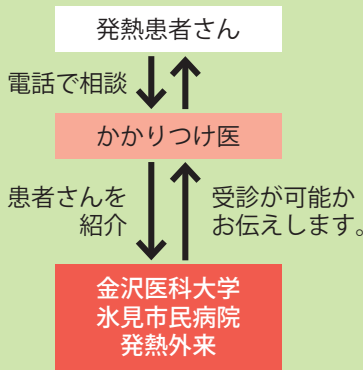
当日は2部門に分かれ、組織体制や職員研修計画および参加状況の確認、医療安全部門では患者誤認、転倒転落予防対策など、感染対策では手指衛生の遵守、職員のワクチン接種、抗菌薬の適正使用状況などを評価表に基づいてヒアリングが行われました。続いて、病院内をラウンドし、各部署でのマニュアル遵守状況や環境整備、防護具の設置状況などを確認しました。

分院内で相互ラウンドを行うことは自施設における医療安全、院内感染防止対策の現状を客観視することができます。ラウンド評価を参考に医療安全・感染対策の強化、改善に努めていきます。





# 病院からのお知らせ掲示板



**(確認する内容)**  
氏名、生年月日、住所、症状、ワクチン接種歴など  
※簡潔にお話し下さい

1. 発熱のある場合、まずはかかりつけの医師へ電話でご相談ください。
  2. 発熱予約受付時間内に、発熱外来窓口へお電話ください。
- 当院の発熱外来は、当日予約制です。必ず、事前にお電話でご連絡いただくようお願いいたします。

## ● 発熱外来受診時のお願い

### 注意事項

- 事前に連絡が無い場合は、予約患者さんの診察の後となり待ち時間が生じることをご了解ください。
- 無症状の方に対する新型コロナウイルス検査は原則実施しておりません。
- 土曜、夜間、休日の新型コロナウイルス検査は緊急の場合を除き当院では行っておりません。時間内の受診にご理解願います。
- 受診待ちの際は基本、自家用車内で待機していただきます。なるべくお車でお越しください。到着後、係員が発熱外来専用駐車場へ誘導します。

### 診療時間

月曜～金曜(祝日除く)  
午前: 9時～11時  
午後: 2時～4時

※小児科は原則、午前11時00分～正午まで

### 電話予約受付

発熱外来受付窓口

TEL 0766-501-8194

月曜～金曜(祝日除く)

午前: 8時45分～11時

午後: 1時～4時

※予約の受付は、当日のみです。ご了承ください。

## ● 人間ドックのご案内

当院の人間ドックは日帰りドック、一泊ドック、脳ドックと簡易ドックがあります。それぞれにオプションとして胸部CTによる肺がん検診、内臓脂肪量測定、頸動脈エコーによる血管検査などを設けています。

「氷見民宿一泊ドック」は氷見の民宿で美味しい海の幸を味わいながら全身精査でき、県内外から多くの方が当院の一泊ドックをご利用いただいております。冬場の魚がおいしいこの時期にご利用をお勧めします。

なお、宿泊は7件の民宿と1件のビジネスホテルからお選びいただけます。

詳細は、当院1階の健康管理センターにお問い合わせください。

### 【予約・お問合せ】

健康管理センター

フリーダイヤル

0800-2000-5134

TEL

0766-741-1900

(内線1800)

受付時間

(月)～(金) 13時～16時

## ● 冬季の駐車場利用について

冬期間中は、積雪や凍結が起これ、当院でも毎年、駐車場や構内道路での転倒や事故が非常に多く発生しています。

病院の敷地内については、職員による除雪作業を行い、患者さんへの危険が少なくなるよう努力しておりますが、来院の際は十分ご注意ください。

### 歩行者の方

滑りにくい靴の着用や、足元を意識してゆっくり歩くなど、転倒には十分注意の上、時間に余裕をもって来院ください。

### 車で来院される方

天候による視界不良や、路面凍結によるスリップの恐れがあるため、駐車場や構内道路では最徐行の徹底をお願いします。

また、積雪により十分な駐車スペースが確保できない場合もございますが、ご理解の程をお願いします。

## 病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

## 患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関を受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報 は 厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にしていただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

## 患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っております。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

## まちかど情報

### 氷見市海浜植物園—シーサイドパーク—

2020年にリニューアルした氷見市海浜植物園が、2021年4月に、さらに木質化リニューアルされました。園内では、「ひみり山杉」を使用してエントランスやメインホールおよび展示ホールの内装を木質化、沢山の木のおもちゃとふれあえる木育ルームが設置されています。また、常設展示のほかにも、工夫を凝らした各種イベントや体験プログラムが随時開催されており、親子でさまざまな楽しみ方ができます。

雨や雪の日が多くなるこの時期、お子さんやお孫さんを連れて、温かな木のぬくもりを感じてみてはいかがでしょうか？

来園の際は、新型コロナウイルス感染対策のための入園制限に関する最新情報をホームページでご確認の上お出かけください。



## 表紙について

雨晴海岸から望む立山連峰、冬の晴れたある日、運よく絶景と巡り合うことができました。この日、夕陽に照らされた山々はピンク色に染まり、雄大さに圧倒されてしまいました。自然の偉大さに小さな悩み事も吹き飛び、明日からまた頑張れる気がします。様々な姿を見せてくれる冬の富山湾、日の出やけあらしなど心に染みる情景を眺めることで、with コロナの生活の中、きっと癒されることでしょう。 かけし冬号編集委員 中央臨床検査部 西岡 さおり

## 編集後記

2021年は、新年早々首都圏や関西で新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令され、感染対策に振り回された一年でした。富山県においても、8月の第5波の際にはまん延防止等重点措置が適用され、県内に1日100名以上の新規感染者が報告されるなど未曾有の状況に陥りました。氷見市でも連日陽性患者が報告されたものの、ワクチン接種や感染対策などの徹底により、大きな混乱もなく第5波を乗り越えることができました。感染については、現在もオミクロン株による第6波の渦中にあり、今後も決して油断できませんが、2022年も氷見市の医療の質を下げることのないよう、これまで以上に感染対策に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

かけし冬号編集委員 耳鼻いんこう科 坪田 雅仁

## ■広報誌「かけし氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけし」となることを願って命名されました。